

# ANUUANU

[第3回テーマ展示]

# ウアイヌコロコタン アカラ

民族共生象徴空間(ウポポイ)の  
ことばと歴史

バーチャル国立アイヌ民族博物館へようこそ!

探究展示 テンパテンパ⑧

イベント報告

調査研究最前線④

博物館 Pickup!

見て見て!館内サイン⑩

ウポポイってこんなところ⑦

法務省からのお知らせ

# ポロトの歴史と、ウポポイができるまで

国立アイヌ民族博物館を含む民族共生象徴空間(ウポポイ)ができるまでの経緯と、ウポポイが立地する白老町ポロト湖畔の歴史について、年表形式で

資料とともに紹介します。ウポポイを見学する前に、歴史的な経緯にふれることで理解がより一層深まり、見方が変わるかもしれません。



アイヌ民族博物館 サーム博物館 姉妹提携宣言(1984年)



ポロトにあったゴーカート場。現在の体験交流ホールの西側周辺(1973年)



旧アイヌ民族博物館開館告知ポスター(1984年)



国立アイヌ民族博物館完成予想模型(2018年)

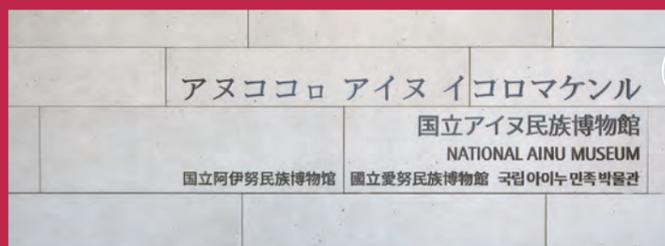
## 第3回 テーマ 展示

# ウアイヌコロ コタン アカラ

ウアイヌコロ コタンは「民族共生象徴空間」を指すアイヌ語です。ウアイヌコロは「互いを敬う」、コタンは「集落」という意味で、民族共生には互いを敬い合うことが重要であるという思いが込められています。当施設は「アイヌの歴史・文化を学び伝えるナショナルセンター」として位置づけられています。本展示タイトルのウアイヌコロ コタン アカラは、「民族共生象徴空間を私たちが作る/つくった」という意味です。本展示では開業に至った経緯と、所在する土地の歴史、そして具体的な開館準備の内容を紹介し、こうした歴史とともに、ウポポイの現在として、アイヌ語を第一言語とし、アイヌ語による解説文や案内表示などに取り組んでいることを紹介します。\*ウポポイは民族共生象徴空間の愛称です。

## 第2章

# アイヌ語 ウポポイの



博物館入口のサイン。施設名は第一言語としてアイヌ語が先頭に表示されています。

ウポポイでは施設名などの案内表示をアイヌ語で表示し、国立アイヌ民族博物館ではアイヌ語による展示解説文を設置するなど、アイヌ語を第一言語とする取り組みを行っています。アイヌ語は2009年にユネスコにより消滅の危機にある言語として位置づけられました。このような状況のなかで、アイヌ語を第一言語とするためにどのような取り組みを行っているのか、アイヌ語表示を中心に紹介します。

誰がどうやって  
検討したの?

どういうふうに  
考えたの?

どんな表示が  
あるの?

アイヌ語の  
表示について  
疑問に思ったら  
展示を見に来た  
ほしいポイント



# 博物館設立準備室での 試み

2020年の博物館開館に向けて、2015年11月に、国立のアイヌ文化博物館(仮称)設立準備室が文化庁文化財部伝統文化課内に設置され、さらに北海道大学の一角に事務所が設置されました。北海道大学の準備室は3人で始まりましたが、白老にできた新博物館に拠点を移す2019年11月末には37人になり、開館までさまざまな取り組みを行ってきました。この章では、当時の設立準備室の様子を、準備業務で実際に使用した具体物を示しながら紹介していきます。



展示開発で手が加えられたぬいぐるみ

# 国立アイヌ民族博物館設立準備室

準備室入口に掲示されていた看板

## イベント 情報

本テーマ展示の展示担当職員によるギャラリートーク、館内のアイヌ語表示をめぐるワークショップなどの関連イベントを予定しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

## 同時開催

# 第5回 エントランスロビー展示 国立アイヌ民族博物館 基本展示室の歩きかた

会期 2022年12月6日(火)～

本展示では、基本展示室の展示をより一層楽しむためのポイントをご紹介します。展示室を飛んでいる鳥はなんだろう? キャプションの「複製」と「復元」の違いは? アイヌ語の解説文はどうやって作ったの? そんな疑問を持ったことがある人はぜひ、本展示をご覧ください。一緒に基本展示室を読み解いていきましょう。



基本展示室全景

「交流」の  
テーマ展示に  
いるよ!



オオジシギ  
(アイヌ語名:チビヤク)

## 一民族共生象徴空間(ウポポイ)のことばと歴史一

会期 2022.12.13(火) - 2023.2.12(日)

※休館日:月曜日(祝日または休日の場合は翌日以降の平日)及び年末年始(12月29日~1月3日)  
※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては会期を変更する場合があります。  
詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

会場 国立アイヌ民族博物館 特別展示室

※博物館の入館料は、ウポポイ入場料に含まれます。

【主催】国立アイヌ民族博物館



関係者以外立入禁止のサイン

「モンライケ ウタラ バテク」を直訳すると?

- ・「モンライケ」… 働く
- ・「ウタラ」… 人びと
- ・「バテク」… だけ

ウポポイ内のさまざまな表示について、それぞれのアイヌ語の意味を紹介します。



給湯室のサイン

バックヤードにもアイヌ語表示があります。普段はお客様の目に触れることのないアイヌ語表示も紹介します。

# バーチャル国立アイヌ民族博物館へようこそ!

アイヌ民族が受け継いできた文化の奥深さをこのバーチャル博物館で家にながら体験してみませんか?  
ぜひアイヌ民族の歴史と文化に興味を持っていただきこの日本最北の国立博物館に来てみてください。

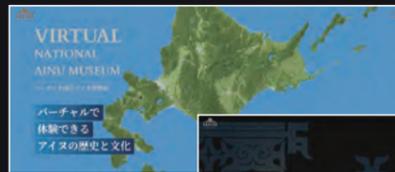
VIRTUAL NATIONAL AINU MUSEUM

ウェブサイト トップページ



ここをクリック

バーチャル国立アイヌ民族博物館  
バーチャルで体験できるアイヌの歴史と文化



バーチャル博物館のトップへ

いよいよ展示室へ!



博物館の中を移動できるので、展示室全体の雰囲気や、展示されている資料の特徴を詳しく見ることができます。



各コーナーの解説の一部を見ることができ、アイヌ語・日本語



←バーチャル国立アイヌ民族博物館はこちら  
展示室以外にも、展示物をさまざまな角度から見る事ができる『3Dモデル展示』、館内のロビーやライブラリー、ミュージアムショップなどもご覧いただけます。

## 国内初! AVICOMの映像祭「F@IMP 2021&2022」で金賞を受賞

チェコのプラハで開催された第26回国際博物館会議(ICOM)の大会で、国立アイヌ民族博物館のバーチャルツアーを題材にした「National Ainu Museum Virtual Tour」(劉高力アソシエイトフェロー制作)がAVICOMの映像祭「F@IMP 2021&2022」にて金賞(Gold)を受賞しました! 金賞の受賞は日本国内の博物館では初めての事です。

◎劉高力アソシエイトフェローより皆様へ  
国立アイヌ民族博物館のバーチャルツアーを紹介することができて、うれしく思います。この動画は、私が世界中の博物館で感じてきた、「Museums have no borders」(博物館に国境はない)ということを中心に、制作しました。国立アイヌ民族博物館を知っていただくきっかけになれば幸いです。



受賞した映像は下記のURLまたはQRコードで見ることができます。  
[https://youtu.be/fosGM\\_yc784](https://youtu.be/fosGM_yc784)



テエタチセ  
むかしの家

「むかしの家」のユニットは、今から100年くらい前まで住んでいた家をモデルにしています。モデルは家屋を構成するパーツに分かれていて、組み合わせることによって家の構造を知ることができます。また、家の中には家族やお客さんのフィギュアを置けるようになっていますが、誰がどこに座るのかというきまりごとがあります。目上の人や年長者が座る場所のルールは世界の文化によってもさまざまですが、アイヌ民族にとっての上座はどこでしょう。また、それは何を基準にしているのかも考えてみましょう。

現代は一軒家やアパートなどの一般的な家屋で生活しているよ



## イケレウシ テンパテンパ —探究展示 テンパテンパ—

8

「テンパテンパ」は、アイヌ語で「さわってね」の意味。体験を通じてアイヌ文化にふれることができる、大人も子どもも楽しめるコーナーです。それぞれの体験ユニットをエドゥケーターが紹介します。



チセイコパクサム  
家と方角

家は、時代や地域ごとにその向きが決まっています。基準となるのは神聖と呼ばれる、家の入口と向かい合う壁にある窓で、儀礼の際にカムイが通る神聖な窓です。「家と方角」のユニットでは、家のミニチュアを回転させることによってその向きを知ることができます。家の向きは主に、太陽の昇る方角(東)もしくは川の流れる方向(上流)によって決まります。ユニットを体験しながら、どのような地域がどちらの方向に家を建てていたのか、その理由も一緒に考えてみましょう。

(エドゥケーター 永石理恵)

今回紹介するふたつの「家」のユニットは、どんな関わりがあるのかな?



## イベント報告 「教員のための博物館の日 at 国立アイヌ民族博物館」 2022.8.1(月)

学習指導要領の改訂により、学校教育におけるアイヌ民族に関する教育の充実が図られています。そこで、昨年度に引き続き、教員向け研修会として、「教員のための博物館の日 at 国立アイヌ民族博物館」を開催しました。当日は、18名の現地参加と8名のリモート参加がありました。



佐々木館長の講話



ディスカッションの様子

【ねらい】

- 学校におけるアイヌ民族に関する教育活動の活性化を図る。
- 国立アイヌ民族博物館の特色に対する教員の理解を深め、博物館学習等、学校と博物館の連携強化に資する。

【プログラム】

- 講話  
「アイヌ民族に対する理解を深めるために一博物館をうまく使う」  
講師：国立アイヌ民族博物館 館長 佐々木史郎
- 説明1  
「小・中学校向け動画教材の紹介」(概要説明および現況紹介)
- 説明2  
「学校教育における国立アイヌ民族博物館の効果的な活用」
- 博物館展示室の見学(基本展示・特別展示)
- ディスカッション  
「アイヌ民族に関する教育活動を進めていくために博物館とできること」  
登壇者：栗田悠(白老小学校主幹教諭)、池淵賢太郎(白老中学校教諭)、佐々木史郎(館長)、村木美幸(民族共生象徴空間運営本部 副本部長)、内田祐一(文化庁調査官)、永野正宏(文化庁調査官) (敬称略)

ディスカッション(現地参加者のみ)では、小・中学校の教員からアイヌ民族に関する教育の取り組みや悩みを、村木副本部長や内田調査官からは体験談等をお話いただきました。また、当館で制作中の動画教材を紹介し、現地参加者に視聴していただきました。(研究員 市川暢子)

# 調査研究最前線 4

## Report 1

### 昭和年間の白老地区におけるアイヌのスケトウダラ漁の漁法と漁具の変遷について

北海道白老町の特産品として有名な「たらこ」。この原材料となるスケトウダラの漁法と漁具の変遷について、2020(令和2)年度に調査を行いました。

『白老町史』には、白老地区では漁業が主要産業で、そのため昔から地域住民の

生活に影響を与えてきたと書かれています。

白老地区では、大正期に漁業人口の増加や漁船の近代化が行われました。しかし1930(昭和5)年の世界恐慌以降、魚価の暴落、漁業用資材の高騰により、漁獲に対する生産費の割合が高くなり、漁師の生活が困窮しました。そのような情勢のなか、スケトウダラ漁の担い手となったのは、中小漁業者でした。

大正期のスケトウダラ漁は、主にはえ縄漁、一本釣漁で行われました。はえ縄漁とは、一本の幹縄にたくさんの枝縄(はえ縄)をつけて、はえ縄の先端に釣り針をつけた漁具で行われる漁法です。(図1:はえ縄漁)

昭和期以降のスケトウダラ漁は、刺網漁で行われています。刺網漁とは、目標とする魚種が遊泳・通過する場所を遮断するように網を張り、その網目に魚の頭部を入り込ませることによって漁獲する漁法です。(図2:刺網漁)現在は網目の大きさが約8.5cmのナイロン製の網が使われています。

白老では例年10月からスケトウダラの刺網漁を開始します。スケトウダラの刺網漁を行う期間は他の漁業ができない決まりとなっているため、11月以降に着手する船が多数となっています。またスケトウダラは一般的に5°Cの水温を好むといわれています。しかしその水温の時期や水深は、漁師の長年の経験や直感がものをいうのだそうです。

現在では「資源管理型漁業」の推進により、それを視野にいたれた中長期の漁業目標をかかげ、漁船が操業しています。本調査では、その目標のもと、地域一丸となって漁業の安定向上を目指し、努力している様子を知ることができました。

(学芸主査 八幡巴絵)

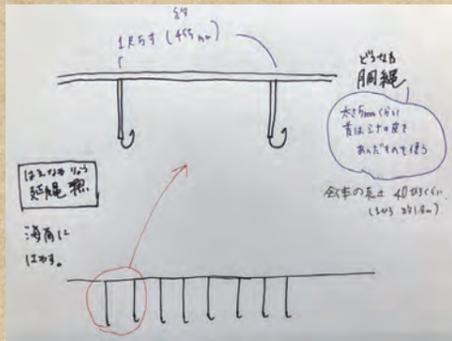


図1 はえ縄漁

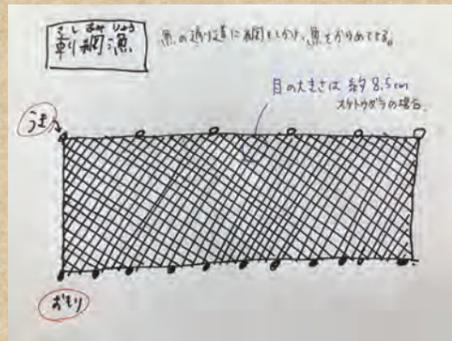


図2 刺網漁

## Report 2

### アイヌ文化で使用された天然染料の科学分析

本プロジェクトでは、アイヌの衣服などに用いられた染料の科学分析について検討を行っています。アイヌ文化における染料研究は先行研究が進んでおり、染料の種類などが詳細にまとめられています。一方で、個別のアイヌ資料に対して染料の分析が行われた例はほとんどありません。アイヌ資料に染料の情報が加わることは、当時使用されていた染料が明らかになるだけでなく、調査結果の蓄積によって時代による染料の変遷や染色方法といった研究への派生が期待できると考えています。

分析にはハイパースペクトルカメラ(図1、以後、HSC)という、色の成分を調べる装置を使用します。従来の装置は数ミリの範囲について、ピンポイントで分析していましたが、この装置はカメラで撮影した範囲すべてが分析範囲となります。資料全体を分析



図1 ハイパースペクトルカメラ

したい場合は資料と装置の距離を長くし、細かい部分を分析したい場合は資料と装置の距離を近づけることで、さまざまな大きさの資料の分析に対応することができます。1mm以下の微小部の分析も可能で、染色糸なども調査することができます。

染料の分析には比較対象となる色の成分のデータを前もって準備しておく必要があります。また同じ染料でも染色する繊維の種類によって色は異なります。そのため、市販されていない染料や繊維を使用する場合、比較用のサンプルを作る必要があります。今回はアイヌ文化で用いられたと

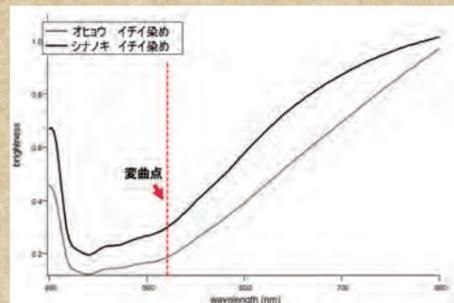


図2 イチイ染めたオホシヨウとシノナキのスペクトル

考えられる染料と繊維の中から、イチイ染めたオホシヨウとシノナキの分析結果を紹介します。イチイは煮出すことによって赤褐色から茶褐色の染液となり、オホシヨウは茶褐色に、シノナキは茶褐色から赤褐色に近い色に染まります。図2はイチイ染めオホシヨウとシノナキの分析結果(スペクトル)です。このスペクトルを見ると、ほぼ同じ波長位置で変曲点が見られることがわかりました。このようにイチイ染めの特徴を把握し、データを蓄積して、実際の資料の分析時に役立っています。今後はこれらのデータを基に着物などの資料の分析に取り組む予定です。(研究員 赤田昌倫)

## 博物館Pickup!

国立アイヌ民族博物館の収蔵資料をピックアップして紹介します。

## イクパスイ/イクニシ (酒を捧げる祭具)



「私たちの世界」で展示しているイクパスイ/イクニシ

儀礼の際、カムイに祈り、酒を捧げるときに使われる祭具です。北海道の多くの地域でイクパスイと呼ばれ、樺太ではイクニシと呼ばれます。地域によって、イクニシなどと呼ばれます。イクは「お酒を飲む(こと)」、パスイは「箸」、ニシ/ニシは「串」などという意味です。

アイヌ(人間)は、この世界のものすべてにラマツ(靈魂)があると考えています。その中でも動植物、自然現象、道具など、重要な働きをするもの、強い影響力があるものたちをカムイと呼んで、敬いながら生活しています。この世界にはさまざまなカムイがいるので、自分たちの暮らしを見守ってくれるように、人間は折に触れて儀礼を行い、それぞれのカムイに祈りを捧げます。平穏に暮らせること、日々の仕事の安全、漁猟や採集や農耕による恵みを多く得られることなどを祈願し、あるいはそれらができたことへの感謝を述べます。儀礼を通して、人間とカムイとの関係性の確認をしたり、お互いに良い関係性を築こうとしたりします。

こうした儀礼の際に、イクパスイは酒をカムイなどに送り届けるとともに、祈り詞を伝えるときには、人間の祈り詞を補って伝えてくれます。イクパスイは儀礼のたびに繰り返し使いますが、クマの霊送り儀礼など重要な儀礼の際に一度限りで用いる削りかけがついたものや、先祖の霊を供養する儀礼の際に用いる文様が一切刻まれていないものもあります。

イクパスイ/イクニシはおもに木製で、形状は全体をへら状に整形しているものなどさまざまです。先端は三角形あるいはゆるやかな曲線を描いているものが多く見られます。大きさは長さ30cmほど、幅3cmほどのものが多く見られます。漆塗りのものもあります。

この限られた空間の表面には、作り手それぞれの意匠が凝らされ、さまざまな文様や立体的な造形などが彫りだされます。幾何学的な線もあれば、返角や筭といった刀の拵を模したのもあれば、矢や舟、酒器、小型のイクパスイを模したものなどもあり、いろいろな造形が彫りだされます。文様や器物だけではなく、クマや鳥や海獣などの動物がはっきりとした姿で彫られているものもあります。日常使う道具に動物の彫刻はまず見られ

ませんが、イクパスイ/イクニシや儀礼用の冠や刀などの祭具には動物の具体的な彫刻が見られます。

その他、表面には先祖の系譜を示す刻みがあり、裏面には所有者を示す刻線が入っているものもあります。パルンペ(舌)と呼ばれる刻みについては、表面先端あるいは裏面先端に刻まれているものもあれば、何も刻まれていないものもあり、地域差があります。

「私たちの世界」の展示では、写真のように、さまざまな形状や文様や造形のあるもの24点を一堂に展示しています。さまざまなイクパスイ/イクニシを収集・保管・展示することは、刻みの有無や形の違いなどの比較研究には欠かせません。また、彫刻技術や意匠の参考にもなり、技術伝承や工芸の振興の一助となります。(研究主査 中井貴規)

ウポボイのアイヌ語表示について紹介します。

## 見て見て! 館内サイン ⑩

## イテキ ウェンプリ コロ

公序良俗に反する行為の禁止

イテキは「~するな」という禁止の命令を表します。ウェンプリは「悪い行い(や心)」、コロは「~をもつ」という意味です。「公序良俗に反する行為」をウェンプリコロ「悪い行い(や心)をもつ」と表現し、イテキを用いて禁止しています。知里幸恵編訳『アイヌ神謡集』に、悪い心をもった狐が登場人物のオキキリムイにこらしめられるという神謡があります(※)。「私はつまらない死に方をしたのだから、これからの狐たちは決して、悪い心をもちなさるな」と、罰を受けた狐が最後に言い残す場面での表現を参考にしました。

イテキ ウェンプリ コロ ヤンと文末にヤンをつける方がより丁寧な表現になりますが、サインでの表現という特性も考えて、ここではより短く簡潔な表現を用いています。(研究主査 中井貴規)

(※) (知里幸恵編訳) 狐自らが歌った謡「ハイクンテレケ ハイコシテムトリ」



イテキ ウェンプリコロ  
その他、公序良俗に反する行為の禁止  
No Other Actions which Interfere with Public Order  
禁止其他違反公共秩序或善良風俗之行為  
기타 미풍양속에 어긋나는 행위 금지



## 「食」を通してアイヌ文化を気軽に体験。

ウポポイでは、アイヌの伝統料理や、その調理方法・食材を用いた料理を提供しています。軽食から本格グルメ、オリジナルスイーツもご用意。ゆっくり楽しむお食事や、ちょっとした休憩にご利用いただけるレストランやフードコートをお3回にわたりご紹介しているこのコーナー。第2回は…



### カフェ リムセ

木のぬくもりあふれる店内で、地元産の食材を使用したアイヌ料理や軽食、お飲みものを楽しめます。

伝統料理「チェポオハウ」は「魚の汁物」という意味で、主食にしていたといわれています。前浜で採れた鮭を使い、具たくさん。素材から出るだし、塩、油のシンプルな素材で、優しい味付けです。いなぎびごはんやアイヌ文化に由来した食材を取り入れた副菜付きのセットメニュー(税込1,400円)も提供しています。



鮭が入った具たくさんさんのチェポオハウ 単品(税込800円)



ユク(蝦夷鹿肉) カツカレー(税込1,400円)



大人気の白い恋人ソフトクリーム(税込400円)



保存食「ベネイモ」のぜんざい(税込600円)

**場所** ウポポイ無料エリア(歓迎の広場)

**営業時間** 9:00～ウポポイ閉園時間

**電話** 0144-85-2177

**座席** 約10席(テラス席有り)

最新の営業状況等の詳細はウポポイウェブサイトをご覧ください

メニュー表

### ◎ウポポイの入場に関するお知らせ



撮影/北海道開発局

**ウポポイ入場券(有料)**

入場券はウポポイ窓口でお買い求めいただけます。なお、ウェブサイトでの事前購入も可能です。

**博物館入場整理券(無料)**

混雑緩和のためウェブサイトでの博物館入館整理券の事前予約を推奨しております。なお、事前予約をしていない場合、博物館窓口にて当日分の整理券の取得をお願いいたします。



各チケットの取得はこちら

### 法務省からのお知らせ

#### アイヌの人々への理解を深め 偏見や差別のない社会を

令和元年5月に施行された「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」では、アイヌの人々へのアイヌであることを理由とした差別の禁止に関する基本理念などが新たに定められています。

法務省の人権擁護機関では、「アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう」を啓発活動の強調事項の一つとして掲げ、アイヌの人々に対する理解と認識を深め、偏見や差別をなくすために、人権啓発活動や人権相談(みんなの人権110番 0570-003-110)、調査救済活動に取り組んでいます。



### 法務省

### 国立アイヌ民族博物館からのお知らせ

#### 国立アイヌ民族博物館第4回テーマ展示 「地域からみたアイヌ文化展」

※この展覧会は、「地域からみたアイヌ文化展」シリーズの第2回です。

会期: 2023(令和5年)3月14日(火)～5月14日(日)  
会場: 2階 特別展示室  
観覧料: 無料

本展覧会では、阿寒湖畔のアイヌ文化を芸能や観光など6つのテーマに分けて展示し、アイヌ民族が歩んできた歴史や伝承活動、新しい取り組みなどについて紹介します。



https://nam.go.jp/



#### お問い合わせ

公益財団法人 アイヌ民族文化財団(ウポポイ内)  
住所: 〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番2号  
電話: 0144-82-3914 FAX: 0144-82-3685  
メール: info@ainu-upopoy.jp

ウポポイに関する詳しい情報はウェブサイトをご覧ください。

ウポポイ 検索

https://ainu-upopoy.jp/

